

音楽アーティスト科 ドラムコース 受講科目一覧 2年次

ドラム総合専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間

45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏実技Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 <input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 18～20回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 21～24回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 25～27回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 28～30回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 31～34回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。 また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
セッションのスタンダード曲や幅広い楽曲を用い、実際に演奏することでセッションに慣れていきます。他パートとリアルタイムでやり取りし楽曲を作り上げていく楽しさを学びます。					
到達目標					
・楽曲やジャンルにあわせたアドリブ演奏を演奏できる。 ・他パートと楽曲を作り上げていくことができる。 ・楽曲に沿ったアドリブ演奏、バックアップができる。 ・他パートの音に注意し反応できる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑪】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑬】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	インプロヴィゼーション理論Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
分野別ゼミ(即興演奏アンサンブル)で取り扱う演奏テーマで使用されている、各種技術や知識を体系的に学び習得します。					
到達目標					
・即興演奏に必要な演奏知識を習得する。 ・演奏テーマとなる楽曲やモチーフに対応しうる演奏技術を習得する。 ・即興演奏をアンサンブルで行う際の各種注意すべきポイント(グループ、自身以外の楽器で合奏時に注意して聴く点、心構えなど)を体系的に習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲11】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲12】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲12】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲13】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験: 課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
グループアンサンブル実習の内容を深く掘り下げ、リズムの歴史を実際の楽曲を聴きながら体系を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・グループアンサンブル実習の内容を理解しやすくするねらい。 ・グループを意識した内容を色々なアプローチでトライしてグループアンサンブル実習につなげる。 ・色々なタイプのジャンル、リズムの中でまずはドラムからグループする事を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ベタの16分音符をキッチリ合わせる/Funkグルーブ習得/シャッフルのリズムを学ぶ
【前期】 4～7回目	レゲエのリズムの習得/スウィングのグルーブを学ぶ/ハネたリズムからベタなリズムへのスイッチ
【前期】 8～10回目	ユニゾンで進むフレーズの一体感/全体でドライブ感を出す/スウィングのグルーブの中でのユニゾンを体感する
【前期】 11～13回目	ライブウィーク/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期内容のまとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	変拍子のアンサンブルを学ぶ/Funkのグルーブをアンサンブルで学ぶ/3拍子のアンサンブルを学ぶ
【後期】 21～24回目	16分音符で進むユニゾンを学ぶ/16分音符の2、4個目を意識したリズムでアンサンブルする/ウラ拍を全体で意識してアンサンブルする
【後期】 25～27回目	全体がドライブするグルーブを習得する/メロディーラインを歌いながらアンサンブルしてみる/ダイナミクスをしっかりとつけたアンサンブルを学ぶ
【後期】 28～30回目	ライブウィーク/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	後期内容のまとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	セット科目である「グループアンサンブル実習」は他のパート(ギター、ベース)との共同授業なので、この授業を通してアンサンブルに入る前に毎週の課題曲へのグループにトライします。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループ&オドメーターⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナシ」、Mega shinnosuke「アルバム/HONNE」レコーディング時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
ドラムを演奏する上でのリズムの感じ方、グルーブの捉え方を学びます。 また、変拍子の楽曲を演奏する為に必要な考え方、ビートやフィルインの構成力を鍛えます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムのノリを体得する。 ・ビート、フィルインの発想力を培う。 ・カウントを身体の中に宿す。 ・リズムを点ではなく円で感じられるようにする。 ・変拍子の楽曲をアレンジして叩けるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	7/8拍子、スネアでリズム打ちするトレーニング+カウンティングして拍子のブロック割り
【前期】 4～7回目	7/8拍子、ビートトレーニング+カウンティング練習
【前期】 8～10回目	7/8拍子、ビート+フィルイントレーニング、カウンティング練習
【前期】 11～13回目	3/4、3/8、6/8拍子、スネアでリズム打ち+カウンティングとブロック割り
【前期】 14～17回目	3/4、3/8、6/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習 ■前期試験：課題曲の演奏により「クリックに合っているか / アドリブ力 / 解釈スピード」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	5/4、5/8拍子、スネアリズム打ち+カウンティング練習
【後期】 21～24回目	5/4、5/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習
【後期】 25～27回目	9/8拍子、スネアリズム打ち+カウンティング練習
【後期】 28～30回目	9/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習
【後期】 31～34回目	1～35回目の拍子を使ってドラムレスの音源でドラムアレンジする練習 ■後期試験：課題曲の演奏により「クリックに合っているか / アドリブ力 / 解釈スピード」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クリックに合っているか / アドリブ力 / 解釈スピード」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	変拍子の楽曲を1からドラムアレンジする、また既存の楽曲を解釈して演奏できるまでにスムーズなプロセスと二つを身につけます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プレイングテクニックⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
ドラムセット演奏におけるハンド・テクニックとフット・テクニック全般を、各名称と応用方も覚えながら体系的に学んでいく。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・スネア、ドラム、ルーディメンツを中心に学習する以外にも、手足への応用やコンビネーションやモーラー奏法による演奏法などを大系的に学んでもらう。 ・パワー、リラックス、エンデュランス、コントロール、アイソレーション等の向上を図る。 ・ドラマーに必要な基本技術を、より自然でリラックスした方法を通して理解する。 ・各自の音楽性や表現力に良い影響を与え、各自の個性に合わせて発展していける段階に引き上げる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	モーラー奏法における基本ストロークの流れ、ダウン・ストローク&タップ・ストローク&アップ・ストローク、ウィップ・モーション、グラッドストーン奏法との比較
【前期】 4～7回目	モーラー・トリプレッツ、モーラー・フォー・ストローク、身体の使い方のアドバイス① カの流れについてのディスカッション モーラー式ダブル・ストローク
【前期】 8～10回目	ルーディメンツへの応用、ショート・ロール系、パラディドル系 ルーディメンタル・スネア・ソロ
【前期】 11～13回目	セットへの応用 身体の使い方のアドバイス② 試験
【前期】 14～17回目	コンビネーション練習 グルーヴについてのディスカッション フット・モーラー スネア・ソロ ■前期試験：課題曲の演奏により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	ルーディメンツへの応用 インパーテッド系 4way independence
【後期】 21～24回目	手足のコンビネーション ハイブリッド・ルーディメンツ数種
【後期】 25～27回目	ルーディメンタル・スネア・ソロ②～③ 音楽的なタッチ・コントロール(ドラム) 楽曲への展開
【後期】 28～30回目	音楽的なタッチ・コントロール(シンバル) 楽曲への展開 試験
【後期】 31～34回目	楽曲への展開 実際例を挙げながら まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ドラムスは、とても楽しく様々な音が出しやすい楽器ですが、一方で、なかなか技術的に伸びなかったり、力みが抜けず、疲れやすかったりする人がとても多いです。腱鞘炎や腰痛等、身体を痛めてしまう場合も。レッスンで正確な身体の使い方の知識や練習方法を学ぶと大きく変わるキッカケを掴めます。ドラムセット演奏におけるストレスを軽減し、表現力をより高めるために一緒に勉強しましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	アドバンスドドラムⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏実技Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
一年次に習得したベーシックな要素をより発展させ、最新のドラミングや専門的なジャンルのフレーズを学びます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 時代の流れに沿ったドラミング、サウンドメイキングを知る。 ポピュラーではないが上達のカギとなるリズムパターン、ジャンルを学ぶ。 難解なリズムパターンやフレーズを安定してグルーブできるようにする。 サルサ、ボサノバなど、特有のグルーブを正しく理解し、叩けるようにする。 曲に合ったサウンドを作ることができる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ダブルストローク強化。6Stroke Roll強化。それらを使ったフィルの練習。
【前期】 4～7回目	【課題曲①】FTとBDの16分音符が滑らかにつながるようにする。
【前期】 8～10回目	【課題曲②】ポリリズム系パターン。16の3つ割と4分音符を共存させたグループ練習 ブラジル系ドラミング、パルチドアルト練習
【前期】 11～13回目	【課題曲③】32分フィルのゴスペルチョップ的アプローチ
【前期】 14～17回目	32分フィルパターンのより難解なパターン ダブルシャッフル練習 ■前期試験：課題曲の演奏により「BPM/グルーブ/タイム/キットバランス/サウンドメイク」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	手足コンビネーション(リニアフレーズ)のフィルイン練習 【課題曲④】HHとRideを同時に使った刻みパターン
【後期】 21～24回目	ポリリズム(ずらし)系パターン、フィルイン
【後期】 25～27回目	引き続きポリリズム系パターン、フィルイン ラテン系ドラミング(サルサ、マンボ、チャチャチャ等)
【後期】 28～30回目	ジャンルに合うサウンドメイキング(チューニング)を学ぶ 音量コントロール(消音)したドラミングでグルーブする練習
【後期】 31～34回目	一年の総復習 ■後期試験：課題曲の演奏により「BPM/グルーブ/タイム/キットバランス/サウンドメイク」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「BPM/グルーブ/タイム/キットバランス/サウンドメイク」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	音楽の時代の流れは早く、求められるサウンドは刻一刻と変化していきます。プレイヤーそれぞれが変化に対してアンテナを張って、どんどん吸収していくべきです。この授業では、さまざまな現場を経て必要だと感じた技術と知識を出来る限り伝授しようと思います。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループアンサンブル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
既存の楽曲を課題曲にして2週にかけてドラム、ギター、ベースで仕上げるリズムに重点を置きながらアンサンブルを成立させるプロセスを学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の楽曲からフレージング、アンサンブル、ダイナミクス、グルーヴ感を習得しながら実際のアンサンブルに反映させる。 ・様々なジャンルの既存楽曲からフレージング、アンサンブル、ダイナミクス、グルーヴ感を学び、生徒のリズム感、フレーズ発想力、アンサンブルスキルを上げる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲①、②、③ : ①ベタの16分音符4をキッチリ合わせる ②Funkのグルーヴ習得 ③シャッフルのリズムを学ぶ
【前期】 4～7回目	課題曲④、⑤、⑥ : ④レゲエのリズムの習得 ⑤スウィングのグルーヴを学ぶ ⑥ハネたリズムからベタなリズムへのスイッチ
【前期】 8～10回目	課題曲⑦、⑧ : ⑦ユニゾンで進むフレーズの一体感 ⑧全体でドライブ感を出す
【前期】 11～13回目	課題曲⑨ : ⑨スウィングのグルーヴの中でのユニゾンを体成する
【前期】 14～17回目	前期まとめ/①～⑨までの課題曲のおさらい ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	課題曲⑩、⑪、⑫ : ⑩変拍子のアンサンブルを学ぶ ⑪3拍子のアンサンブルを学ぶ ⑫Funkグルーヴをアンサンブルで学ぶ
【後期】 21～24回目	課題曲⑬、⑭、⑮ : ⑬16分音符で進むユニゾン进行を学ぶ ⑭ウラ拍を全体で意識してアンサンブルする ⑮16分音符の2、4個目を意識したリズムでアンサンブルする
【後期】 25～27回目	課題曲⑯、⑰ : ⑯全体がドライブするグルーヴを習得する ⑰メロディーラインを歌いながらアンサンブルしてみる
【後期】 28～30回目	課題曲⑱ : ⑱ダイナミクスをしっかりとつけたアンサンブルを学ぶ
【後期】 31～34回目	後期まとめ/⑩～⑱までの課題曲のおさらい ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	既存楽曲には沢山のヒントが詰まっています。この授業はそのヒントを紐解いて実際にアンサンブルで他パートと演奏するのにより習得への近道につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要	一年次より技術や応用力が必要な曲を使って、実際のライブ演奏に必要な技術を習得します。				
到達目標	・レコーディングなどとは違う、ライブならではの演奏を身につける。 ・実際のライブを想定した動きやパフォーマンスを身につける。 ・ライブ演奏をすることにおける実践的なアプローチを習得する。 ・演奏以外の面でのパフォーマンスが身に付く。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】楽曲の構成、フレーズの把握、ロックとファンクの要素が混在したグループを理解して演奏する 【課題曲②】楽曲の構成、フレーズの把握、ブラシワーク練習
【前期】 4～7回目	【課題曲②】スウィープ以外にもさまざまなブラシの使い方を駆使して曲を聴かせる 【課題曲③】楽曲の構成、フレーズの把握、BPMをきちんとキープして楽曲をしっかりと聴かせられる
【前期】 8～10回目	【課題曲③】歌の内容をきちんと理解したダイナミクス、パターン、フィルのチョイスができる LW/リハーサル
【前期】 11～13回目	【課題曲④】楽曲の構成、フレーズの把握、単純なパターンだが退屈させないグループを作り出す
【前期】 14～17回目	【課題曲④】自由度が高い曲なので少し遊びを入れたりアレンジを加える ■前期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】楽曲の構成、フレーズの把握 【課題曲⑥】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 21～24回目	【課題曲⑦】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 25～27回目	【課題曲⑧】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 28～30回目	【課題曲⑨】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 31～34回目	一年総まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年間ライブ実習の授業を受けてきた皆さんなら、もう基本的なライブパフォーマンスは身に付いてきていると思います。二年次にはそれをさらにブラッシュアップさせるのはもちろん、バンド全体でのパフォーマンス、ライブ前の準備段階のことなども考えていきましょう。そして何より、ライブを楽しみましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作 				
授業概要					
一年次より技術や応用力が必要な曲を使って、ライブスタイル実習Ⅱ同様実際のライブ演奏に必要な技術を習得します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・応用としてレコーディングなどとは違う、ライブならではの演奏を身につける。 ・実際のライブを想定した動きやパフォーマンスを身につける。 ・ライブ演奏をすることにおける実践的なアプローチを習得する。 ・演奏以外の面でのパフォーマンスが身に付く。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】楽曲の構成、フレーズの把握、ロックとファンクの要素が混在したグループを理解して演奏する 【課題曲②】楽曲の構成、フレーズの把握、ブラシワーク練習
【前期】 4～7回目	【課題曲②】スウィープ以外にもさまざまなブラシの使い方を駆使して曲を聴かせる 【課題曲③】楽曲の構成、フレーズの把握、BPMをきちんとキープして楽曲をしっかりと聴かせられる
【前期】 8～10回目	【課題曲③】歌の内容をきちんと理解したダイナミクス、パターン、フィルのチョイスができる LWリハーサル
【前期】 11～13回目	【課題曲④】楽曲の構成、フレーズの把握、単純なパターンだが退屈させないグループを作り出す
【前期】 14～17回目	【課題曲④】ライブ実習Ⅱ①をもとに、自由度が高い曲なので少し遊びを入れたりアレンジを加える ■前期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】楽曲の構成、フレーズの把握 【課題曲⑥】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 21～24回目	【課題曲⑦】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 25～27回目	【課題曲⑧】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 28～30回目	【課題曲⑨】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 31～34回目	ライブ実習Ⅱ①と同様一年総まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年間ライブ実習の授業を受けてきた皆さんなら、もう基本的なライブパフォーマンスは身に付いてきていると思います。二年次にはそれをさらにブラッシュアップさせるのはもちろん、バンド全体でのパフォーマンス、ライブ前の準備段階のことなども考えていきましょう。そして何より、ライブを楽しみましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作 				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。 ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るように、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブ性も存分に発揮してください。
備考	

音楽アーティスト科 ドラムコース 受講科目一覧 2年次

ドラム&クリエイター専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 45分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
演習	共同演習Ⅱ	68	2	4
講義	音楽理論/調音Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
実習	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	68	2	2
実習	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	68	2	2
実習	サウンドアナライズⅡ	68	2	2
演習	アンサンブル基礎Ⅱ	68	2	4
演習	アンサンブル応用Ⅱ	68	2	4
実習	DAW・DTM基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作基礎Ⅱ	68	2	2
実習	作品制作応用Ⅱ	68	2	2
合計		888	28	38

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目		該当	<input type="checkbox"/>	非該当 <input checked="" type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴					
授業概要	著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。				
到達目標	音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の内容を理解し、支分権と内容を結びつけることが出来る② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	NHKスペシャル「知は誰のものか」映像視聴及び解説 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造とJASRACとの契約
【前期】 11～13回目	JASRACの成り立ちと自由化への流れ JASRACの功罪 音楽教室から著作権使用料を徴収することの是非について 【作文提出】
【前期】 14～17回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施・前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
【後期】 18～20回目	CD制作に関する印税の仕組み レコード会社の収益について 原盤制作費とリクープラインについて
【後期】 21～24回目	インタラクティブ配信における印税の仕組み 動画投稿サイトに関する著作権について 放送・カラオケに関する著作権について
【後期】 25～27回目	演奏・レンタルに関する著作権について 音楽ビジネスの現状 【作文提出】 著作物の利用に関して 著作物の利用手続き、所有権と著作権の違いを理解する
【後期】 28～30回目	著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則に関しての理解を深める AIと著作権 ビデオ視聴
【後期】 31～34回目	AIと著作権 【作文提出】 テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施・後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善につなげる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と著作権ビジネスの構造について学びます。 また、JASRACに関しても、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけ、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。 後期では主に音楽ビジネスの根幹となる印税システムについての理解を深め、音楽ビジネスの成り立ちについてアーティストサイドの考え方も理解した上で、自分なりの考えを身につけるようにしてください。
備考	HRも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	分野別ゼミⅡ		授業形態 / 必選	演習	必修
	学則別表上表記	共同演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
セッションのスタンダード曲や幅広い楽曲を用い、実際に演奏することでセッションに慣れていきます。他パートとリアルタイムでやり取りし楽曲を作り上げていく楽しさを学びます。					
到達目標					
・楽曲やジャンルにあわせたアドリブ演奏を演奏できる。 ・他パートと楽曲を作り上げていくことができる。 ・楽曲に沿ったアドリブ演奏、バックアップができる。 ・他パートの音に注意し反応できる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーブでのセッション。セッションを通しての課題修正。【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーブの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑪】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑬】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーブの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	インプロヴィゼーション理論Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽理論/調音Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作 				
授業概要	分野別ゼミ(即興演奏アンサンブル)で取り扱う演奏テーマで使用されている、各種技術や知識を体系的に学び習得します。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・即興演奏に必要な演奏知識を習得する。 ・演奏テーマとなる楽曲やモチーフに対応しうる演奏技術を習得する。 ・即興演奏をアンサンブルで行う際の各種注意すべきポイント(グループ、自身以外の楽器で合奏時に注意して聴く点、心構えなど)を体系的に習得する。 				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】Pick Up the Pieces/アンサンブルでの練習、3種類のグルーヴでのセッション。セッションを通しての課題修正。【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 4～7回目	【課題曲②】Run for Cover/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲③】Cissy Strut/アンサンブルでの練習、バンド全体でのグルーヴの考察、ノリの共有。セッションを通しての課題修正。
【前期】 8～10回目	【課題曲④】Pieces/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑤】The Chicken/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 11～13回目	テストレビュー/前期テスト/【課題曲⑥】Sunny/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【前期】 14～17回目	前期まとめ ■前期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑦】City Living/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑧】Lay it Down/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 21～24回目	【課題曲⑨】Georgy Porgy/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。【課題曲⑩】Crazy Race/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 25～27回目	【課題曲⑪】Just the Two of Us/アンサンブルでの練習、セッションを通しての課題修正。【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 28～30回目	【課題曲⑫】Led Boots/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。/テストレビュー/後期テスト/【課題曲⑬】Just Funky/アンサンブルでの練習、グルーヴの考察。セッションを通しての課題修正。
【後期】 31～34回目	年間まとめ ■後期試験:課題曲の演奏により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「アドリブ / アイデア / グループ / 一体感」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	当授業では、実際にバンドでどんどんセッションを回していきます。アンサンブルでは全員でリアルタイムで曲を作り上げていく感覚です。切磋琢磨し合い、即興演奏の楽しさを体感していきましょう。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループの歴史と体系Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
グループアンサンブル実習の内容を深く掘り下げ、リズムの歴史を実際の楽曲を聴きながら体系を学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・グループアンサンブル実習の内容を理解しやすくするねらい。 ・グループを意識した内容を色々なアプローチでトライしてグループアンサンブル実習につなげる。 ・色々なタイプのジャンル、リズムの中でまずはドラムからグループする事を習得する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ベタの16分音符をキッチリ合わせる/Funkグルーブ習得/シャッフルのリズムを学ぶ
【前期】 4～7回目	レゲエのリズムの習得/スウィングのグルーブを学ぶ/ハネたリズムからベタなリズムへのスイッチ
【前期】 8～10回目	ユニゾンで進むフレーズの一体感/全体でドライブ感を出す/スウィングのグルーブの中でのユニゾンを体感する
【前期】 11～13回目	ライブウィーク/テストレビュー/前期テスト
【前期】 14～17回目	前期内容のまとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	変拍子のアンサンブルを学ぶ/Funkのグルーブをアンサンブルで学ぶ/3拍子のアンサンブルを学ぶ
【後期】 21～24回目	16分音符で進むユニゾンを学ぶ/16分音符の2、4個目を意識したリズムでアンサンブルする/ウラ拍を全体で意識してアンサンブルする
【後期】 25～27回目	全体がドライブするグルーブを習得する/メロディーラインを歌いながらアンサンブルしてみる/ダイナミクスをしっかりとつけたアンサンブルを学ぶ
【後期】 28～30回目	ライブウィーク/テストレビュー/後期テスト
【後期】 31～34回目	後期内容のまとめ ■前期試験: 課題曲の演奏により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「譜面の読解力 / 解釈スピード / 正確性」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	セット科目である「グループアンサンブル実習」は他のパート(ギター、ベース)との共同授業なので、この授業を通してアンサンブルに入る前に毎週の課題曲へのグループにトライします。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループ&オドメーターⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏基礎技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・私立恵比寿中学、戸渡 陽太、FREAK、Big horns bee等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン ・私立恵比寿中学「アルバム/MUSIC」の楽曲「踊るロクデナン」、Mega shinnosuke「アルバム/HONNE」レコーディング時のバックアップミュージシャン 				
授業概要					
<p>ドラムを演奏する上でのリズムの感じ方、グルーブの捉え方を学びます。 また、変拍子の楽曲を演奏する為に必要な考え方、ビートやフィルインの構成力を鍛えます。</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・リズムのノリを体得する。 ・ビート、フィルインの発想力を培う。 ・カウントを身体の中に宿す。 ・リズムを点ではなく円で感じられるようにする。 ・変拍子の楽曲をアレンジして叩けるようにする。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	7/8拍子、スネアでリズム打ちするトレーニング+カウンティングして拍子のブロック割り
【前期】 4～7回目	7/8拍子、ビートトレーニング+カウンティング練習
【前期】 8～10回目	7/8拍子、ビート+フィルイントレーニング、カウンティング練習
【前期】 11～13回目	3/4、3/8、6/8拍子、スネアでリズム打ち+カウンティングとブロック割り
【前期】 14～17回目	3/4、3/8、6/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習 ■前期試験：課題曲の演奏により「クリックに合っているか / アドリブカ / 解釈スピード」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	5/4、5/8拍子、スネアリズム打ち+カウンティング練習
【後期】 21～24回目	5/4、5/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習
【後期】 25～27回目	9/8拍子、スネアリズム打ち+カウンティング練習
【後期】 28～30回目	9/8拍子、ビート+フィルイン+カウンティング練習
【後期】 31～34回目	1～35回目の拍子を使ってドラムレスの音源でドラムアレンジする練習 ■後期試験：課題曲の演奏により「クリックに合っているか / アドリブカ / 解釈スピード」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クリックに合っているか / アドリブカ / 解釈スピード」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	変拍子の楽曲を1からドラムアレンジする、また既存の楽曲を解釈して演奏できるまでにスムーズなプロセスと二つを身につけます。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プレイングテクニックⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	歌唱/演奏応用技術Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ンジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
ドラムセット演奏におけるハンド・テクニックとフット・テクニック全般を、各名称と応用も覚えながら体系的に学んでいく。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・スネア、ドラム、ルーディメンツを中心に学習する以外にも、手足への応用やコンビネーションやモーラー奏法による演奏法などを大系的に学んでもらう。 ・パワー、リラックス、エンデュランス、コントロール、アイソレーション等の向上を図る。 ・ドラマーに必要な基本技術を、より自然でリラックスした方法を通して理解する。 ・各自の音楽性や表現力に良い影響を与え、各自の個性に合わせて発展していける段階に引き上げる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	モーラー奏法における基本ストロークの流れ、ダウン・ストローク&タップ・ストローク&アップ・ストローク、ウィップ・モーション、グラッドストーン奏法との比較
【前期】 4～7回目	モーラー・トリプレッツ、モーラー・フォー・ストローク、身体の使い方のアドバイス① カの流れについてのディスカッション モーラー式ダブル・ストローク
【前期】 8～10回目	ルーディメンツへの応用、ショート・ロール系、パラディドル系 ルーディメンタル・スネア・ソロ
【前期】 11～13回目	セットへの応用 身体の使い方のアドバイス② 試験
【前期】 14～17回目	コンビネーション練習 グルーヴについてのディスカッション フット・モーラー スネア・ソロ ■前期試験：課題曲の演奏により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	ルーディメンツへの応用 インパーテッド系 4way independence
【後期】 21～24回目	手足のコンビネーション ハイブリッド・ルーディメンツ数種
【後期】 25～27回目	ルーディメンタル・スネア・ソロ②～③ 音楽的なタッチ・コントロール(ドラム) 楽曲への展開
【後期】 28～30回目	音楽的なタッチ・コントロール(シンバル) 楽曲への展開 試験
【後期】 31～34回目	楽曲への展開 実際例を挙げながら まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「モーラー・ストロークの原則 / 各ルーディメンツへの応用度 / シングル、ダブル、フラムなどの使い分け / 音色のコントロール」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	ドラムスは、とても楽しく様々な音が出しやすい楽器ですが、一方で、なかなか技術的に伸びなかったり、力みが抜けず、疲れやすかったりする人がとても多いです。腱鞘炎や腰痛等、身体を痛めてしまう場合も。レッスンで正確な身体の使い方の知識や練習方法を学ぶと大きく変わるキッカケを掴めます。ドラムセット演奏におけるストレスを軽減し、表現力をより高めるために一緒に勉強しましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	グループアンサンブル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	サウンドアナライズⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	・鈴木茂、中西圭三、有山じゅんじ、木村光輝、田口悌二、浅野孝巳(ゴダイゴ)、森本太郎(ザ・タイガース)、ワガン・ジャイローズ、奥本亮、園田亮等、メジャーアーティストのコンサート時のバックアップミュージシャン				
授業概要					
既存の楽曲を課題曲にして2週にかけてドラム、ギター、ベースで仕上げるリズムに重点を置きながらアンサンブルを成立させるプロセスを学ぶ。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・既存の楽曲からフレージング、アンサンブル、ダイナミクス、グルーヴ感を習得しながら実際のアンサンブルに反映させる。 ・様々なジャンルの既存楽曲からフレージング、アンサンブル、ダイナミクス、グルーヴ感を学び、生徒のリズム感、フレーズ発想力、アンサンブルスキルを上げる。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	課題曲①、②、③ : ①ベタの16分音符4をキッチリ合わせる ②Funkのグルーヴ習得 ③シャッフルのリズムを学ぶ
【前期】 4～7回目	課題曲④、⑤、⑥ : ④レゲエのリズムの習得 ⑤スウィングのグルーヴを学ぶ ⑥ハネたリズムからベタなリズムへのスイッチ
【前期】 8～10回目	課題曲⑦、⑧ : ⑦ユニゾンで進むフレーズの一体感 ⑧全体でドライブ感を出す
【前期】 11～13回目	課題曲⑨ : ⑨スウィングのグルーヴの中でのユニゾンを体成する
【前期】 14～17回目	前期まとめ/①～⑨までの課題曲のおさらい ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	課題曲⑩、⑪、⑫ : ⑩変拍子のアンサンブルを学ぶ ⑪3拍子のアンサンブルを学ぶ ⑫Funkグルーヴをアンサンブルで学ぶ
【後期】 21～24回目	課題曲⑬、⑭、⑮ : ⑬16分音符で進むユニゾン学ぶ ⑭ウラ拍を全体で意識してアンサンブルする ⑮16分音符の2、4個目を意識したリズムでアンサンブルする
【後期】 25～27回目	課題曲⑯、⑰ : ⑯全体がドライブするグルーヴを習得する ⑰メロディーラインを歌いながらアンサンブルしてみる
【後期】 28～30回目	課題曲⑱ : ⑱ダイナミクスをしっかりとつけたアンサンブルを学ぶ
【後期】 31～34回目	後期まとめ/⑩～⑱までの課題曲のおさらい ■前期試験: 課題曲の演奏により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「リズムキープ / 原曲のフィールの把握 / ダイナミクス」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	既存楽曲には沢山のヒントが詰まっています。この授業はそのヒントを紐解いて実際にアンサンブルで他パートと演奏するのにより習得への近道につながります。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブスタイル実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要	一年次より技術や応用力が必要な曲を使って、実際のライブ演奏に必要な技術を習得します。				
到達目標	・レコーディングなどとは違う、ライブならではの演奏を身につける。 ・実際のライブを想定した動きやパフォーマンスを身につける。 ・ライブ演奏をすることにおける実践的なアプローチを習得する。 ・演奏以外の面でのパフォーマンスが身に付く。				

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	【課題曲①】楽曲の構成、フレーズの把握、ロックとファンクの要素が混在したグループを理解して演奏する 【課題曲②】楽曲の構成、フレーズの把握、ブラシワーク練習
【前期】 4～7回目	【課題曲②】スウィープ以外にもさまざまなブラシの使い方を駆使して曲を聴かせる 【課題曲③】楽曲の構成、フレーズの把握、BPMをきちんとキープして楽曲をしっかりと聴かせられる
【前期】 8～10回目	【課題曲③】歌の内容をきちんと理解したダイナミクス、パターン、フィルのチョイスができる LW/リハーサル
【前期】 11～13回目	【課題曲④】楽曲の構成、フレーズの把握、単純なパターンだが退屈させないグループを作り出す
【前期】 14～17回目	【課題曲④】自由度が高い曲なので少し遊びを入れたりアレンジを加える ■前期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	【課題曲⑤】楽曲の構成、フレーズの把握 【課題曲⑥】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 21～24回目	【課題曲⑦】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 25～27回目	【課題曲⑧】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 28～30回目	【課題曲⑨】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 31～34回目	一年総まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年間ライブ実習の授業を受けてきた皆さんなら、もう基本的なライブパフォーマンスは身に付いてきていると思います。二年次にはそれをさらにブラッシュアップさせるのはもちろん、バンド全体でのパフォーマンス、ライブ前の準備段階のことなども考えていきましょう。そして何より、ライブを楽しみましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	ライブパフォーマンス実習Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択
	学則別表上表記	アンサンブル応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、 メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作 				
授業概要					
一年次より技術や応用力が必要な曲を使って、ライブスタイル実習Ⅱ同様実際のライブ演奏に必要な技術を習得します。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・応用としてレコーディングなどとは違う、ライブならではの演奏を身につける。 ・実際のライブを想定した動きやパフォーマンスを身につける。 ・ライブ演奏をすることにおける実践的なアプローチを習得する。 ・演奏以外の面でのパフォーマンスが身に付く。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲①】楽曲の構成、フレーズの把握、ロックとファンクの要素が混在したグループを理解して演奏する 【課題曲②】楽曲の構成、フレーズの把握、ブラシワーク練習
【前期】 4～7回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲②】スウィープ以外にもさまざまなブラシの使い方を駆使して曲を聴かせる 【課題曲③】楽曲の構成、フレーズの把握、BPMをきちんとキープして楽曲をしっかりと聴かせられる
【前期】 8～10回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲③】歌の内容をきちんと理解したダイナミクス、パターン、フィルのチョイスができる LWリハーサル
【前期】 11～13回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲④】楽曲の構成、フレーズの把握、単純なパターンだが退屈させないグループを作り出す
【前期】 14～17回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲④】ライブ実習Ⅱ①をもとに、自由度が高い曲なので少し遊びを入れたりアレンジを加える ■前期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲⑤】楽曲の構成、フレーズの把握 【課題曲⑥】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 21～24回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲⑦】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 25～27回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲⑧】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 28～30回目	<ul style="list-style-type: none"> 【課題曲⑨】楽曲の構成、フレーズの把握
【後期】 31～34回目	<ul style="list-style-type: none"> ライブ実習Ⅱ①と同様一年総まとめ ■後期試験：課題曲の演奏により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「楽曲理解度/グループ/タイム感/フレーズセンス/パフォーマンス」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年間ライブ実習の授業を受けてきた皆さんなら、もう基本的なライブパフォーマンスは身に付いてきていると思います。二年次にはそれをさらにブラッシュアップさせるのはもちろん、バンド全体でのパフォーマンス、ライブ前の準備段階のことなども考えていきましょう。そして何より、ライブを楽しみましょう！
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	DAW II		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	DAW・DTM基礎 II	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	メタルバンド「ANOTHER STREAM」(アナザーストリーム)にてインディーズデビュー。国内外から様々な評価を得つつ2012年に脱退。 2013年よりレコーディングエンジニア・アレンジャーとしてのキャリアを開始し、メジャーアーティストを始め様々なアーティストのレコーディング、編曲などに参加。				
授業概要					
<p>作詞・作曲に必要なアイデアを増やす。メロディー作り。コード進行の構築。リズムの種類に対する理解。作文・ポエムにならないような歌詞作り 生徒自身で作成したオリジナル楽曲に対して編曲をする。編曲における各種楽器の理解、logicX及びPC(Mac)操作</p>					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> 生徒が作曲する作品の多くは偏ったジャンル、かつ狭い範囲で制作することが殆どである為、生徒が持ち合わせていない作詞作曲に関する知識、情報、テクニックを紹介し、センスの幅を広げてもらうこと。 生徒本人が持つ個性を自覚し、その個性を武器として、卒業後もその個性を追求し、アーティストとして作品作りが出来るようにする。 オリジナル曲をボイスメモ引き語りで完結させず、logicX上で管理し、自身のプロモーション活動及びアレンジャー委託用のヘッドアレンジを出来るようにする。 logicXの操作習得、自身オリジナル曲のファイル管理、各楽器の役割アプローチを理解する。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	ミディアムテンポで楽曲作成：イブニングやシャッフルの意識を再確認してもらう。作詞にて、景色と気持ちのバランス、慣用句の使いかた、固有名詞を入れるポイント
【前期】 4～7回目	アップテンポで楽曲制作：ハイトempoにおけるコードの適切な配置、ブレイクやキメなどのリズムの仕掛け作り。歌詞、ワードに対するポジティブとネガティブの切り分け、スピード感のある言葉とは。
【前期】 8～10回目	スローテンポ(バラード)で楽曲作成：バラードにおけるストリングスの使い方。1/16・1/32のクオンタイズの切り替え。6/8拍子で楽曲作成：スロー3連。logicXにて、テンポチェンジ、拍子チェンジのやり方
【前期】 11～13回目	マイナーkeyで楽曲制作：メジャースケール、マイナースケールのおさらい。ハーモニックマイナー、メロディックマイナー、マイナーペンタトニック。Ⅱm→Ⅴの実践的な使い方。
【前期】 14～17回目	シャッフルビートで楽曲制作：8ビートシャッフル16ビートシャッフルの実践的な違い。Ⅰ、△Ⅳ△7、Ⅵmのトニックに関する解説と実践方法。「ラブソングのどこを切り取るのか？」について考えてみる ■前期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	ロックンロールで楽曲制作：ロックンロールの定義についての研究。ロックとロックンロールの違いについて、ギターとピアノのロックンロールアプローチの解説。歌詞：ライミングについて。母音を合わせるタイミングについて
【後期】 21～24回目	R&Bで楽曲制作：昨今のリズムアンドブルースについて、踊れるビートとはなにか？ベースとキックのシンクロについて再認識。音価、ノートOFFのコントロール。
【後期】 25～27回目	ボサノヴァで楽曲制作：ボサノヴァの文化について、J-Popにおけるボサノバの使われ方。ボサノバとサンバの違いについて理解する。モントゥーノ奏法について。ウイスパーボイスなど、楽曲に合わせた発声を研究する。
【後期】 28～30回目	レゲエで楽曲制作：レゲエの歴史について。黒レゲエ、白レゲエの違い。裏拍、バックビートの使い方。ギターの音色について、クリーン、クランチ、オーバードライブ、ディストーション、ファズ。
【後期】 31～34回目	Jazzで楽曲制作：ジャズの種類、ビックバンド、スタンダード、モダン、ビバップなど。スイングの概念について。モードスケール・オルタードスケールの実践的な使い方。セカンダリドミナントの実践的な使い方。 ■後期試験：楽曲の制作により「作曲クオリティ/編曲の理解/DAW操作の理解/Mixクオリティ」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「制作楽曲のクオリティ / 制作意欲」の2項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	とにかく作曲の数をこなすこと(アウトプット)も大切ですが、インプットも大切です。特にリファレンス曲がリファレンス曲たる所以を、しっかり分析することも行ってください。自身の楽曲を客観的に捉えられるようになること。主観も大切ですが、特に客観性の強化、世の中の感性と自身の感性との誤差を客観的に捉えられようになることが商業作家として重要な事項の一つになると思います。そのあたりを念頭にオリジナル曲作りに励んでください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オリジナルワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作基礎Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 <input type="checkbox"/>				
担当講師 実務経歴	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作 				
授業概要					
基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを体験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティビティも存分に発揮してください。
備考	

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタジオワークⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	作品制作応用Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽アーティスト科 ヴォーカル/シンガーソングライター/ギター/ベース/ドラム				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	・藤原さくら、磯貝サイモン、青木カレン、Teatro Raffinato、是方博邦、鈴木よしひさ等、メジャーアーティストのコンサート、レコーディング時のバックアップミュージシャン ・SHARP「LED AQUOS」、ワンダーランド、薩摩酒造、華味鳥等のCM音源制作				
授業概要					
オリジナルワークⅡ同様、基礎課程で積み上げてきた知識、技能の総体としてクリエイティブな応用実践で音楽やパフォーマンス作品を作り上げていきます。また、グループプロジェクトとして企画、打合せ、譜面制作、リハーサル、レコーディング、ステージ本番に至るスケジューリングを行い、構成員の考えや芸術観などお互いにコネクトしながらより良い制作の方法を考えることにも重点を置きます。					
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルワークⅡでの内容を更に応用し制作していきます。 ・エンターテインメントの基本構造の理解、表現学習、作品制作、ステージ発表などを習得のサイクルとし、徐々に表現レベルを上げていきます。 ・メンバー全員でひとつのプロジェクトを作ることを経験し、今後の活動に生かすことが出来るようにし、且つクオリティーの高い楽曲制作と演奏が出来るようにシミュレーションを重ねます。 ・自身のポテンシャルを高めて、将来的な可能性の幅を広げることが可能になります。 ・チームワーク、協調性を養います。 					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	決められたメンバーと協力し合い、ひとつのプロジェクトを作り、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【前期】 4～7回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【前期】 8～10回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【前期】 11～13回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【前期】 14～17回目	前期の授業で制作してきた作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■前期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
【後期】 18～20回目	後期はより高度なプロジェクトコンセプトをグループごとに思考し、ライブ演奏、レコーディングに向けた企画とスケジューリングを行う。構成員の発想を集約し方向性の確認も行う。
【後期】 21～24回目	イベントプロジェクトの企画案に従い、オリジナルの抽出、楽曲の選定、またアレンジの振り分けなど個々の特性と将来像に応じて構成員の役割を決定していく。
【後期】 25～27回目	オリジナルナンバーのコンセプトやアレンジを確認しあい、演奏や歌唱を行いながら修正点を抽出していきます。また活発な意見の発議でそれぞれの考えを確認する。
【後期】 28～30回目	楽曲演出や演奏の完成度を上げるためにグループとしての実力を指導すると同時に個々へ与えられた課題を確実にクリアし、プロジェクトに反映させていく。
【後期】 31～34回目	後期の授業で制作した作品の総仕上げ～ステージ発表またはレコーディングを行い形に残す。 ■後期試験：作品の発表により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の到達度を確認する。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「クオリティー/技術力/表現力/コミュニケーション力」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一作品をグループで作りに上げるプロセスの中で生じる葛藤や苦悩という生みの苦しみを経験しながら、作品完成時に感じる達成感や喜びを授業を通してシミュレーションしておきましょう。また基礎課程で培ったパーツを組み合わせる応用課程のクリエイティブ性も存分に発揮してください。
備考	